

団体名	フェアトレードちば		
事業名	フェアトレードを知り学び味わう！コーヒーワークショップの実施	種別	I型(1年目)

課題

- ・市内でのフェアトレードの認知度が低い
- ・2030年のSDGs達成に向けて、目標の1つでもある「つくる責任つかう責任」を実現するために、消費購入アクションから市民の参加を促したい

事業内容

フェアトレードを知り学び味わう！コーヒーワークショップの実施

【目的:市内におけるフェアトレードの啓発】

- ☑ いつ? 令和3年12月26日(日)
- ☑ どこで? 会場(勤労市民センター)とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催
- ☑ 内容は? フェアトレードに関する講話とコーヒーのワークショップ
- ☑ その他 金子 和則 氏 パン工房ろーずまりー(NPO 法人しーど)代表をゲスト招待
- ☑ 参加者は? 一般市民 20 名
- ☑ その他 市内でフェアトレード品の製作・販売などを行っている団体などのリストアップを行い、調査しながら 27 件をリスト化 →令和 4 年度にマップを作成予定

事業費(A) 80,880 円	支援金(B) <u>64,704 円</u>
事業収入 7,500 円	事業費に占める支援率(B/A) 80%

目的

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	31,000	4	Zoom 利用・資料郵送料	18,472
2	コーヒー材料代	12,913	5	ボランティア保険料	1,750
3	チラシ・資料印刷費	12,125	6	会場使用料	4,620
				1~6 合計(A)	80,880

効果

- ・今回の取り組みを通して、フェアトレードに関する知見が広がった
- ・市内でのフェアトレード関係団体のネットワーク化が進んだ

工夫したこと

コーヒーのおいしい淹れ方をテーマにしたこと。コーヒーに関心をもってご参加いただき、フェアトレードについて出会うきっかけとしてもらうことができた。

マップ作りでリスト化し初訪問したろーずまりーさんとお話し会を開くことで、関係性の構築が行えた。

担当者より

コロナ下でオンラインと会場のハイブリッド実施に挑戦し、参加者が安心して参加できる場づくりを進め、テクニカルな部分での経験を積むこともできた。

夏のボランティア体験プログラムとの相乗効果もあった。大学生 1 名が継続参加してくれていて、船橋にフェアトレードを広げていく力になってくれている。



ゲストスタッフ参加者とのお話し会記念写真



金子さんよりミャンマーのパームシュガーの説明



おいしいコーヒーを淹れる様子



金子さんより自転車作業で使用するパンクしないチューブの説明

団体概要

2010年より千葉県内からフェアトレードをテーマにした催事や勉強会の実施、ネットワーク化に取り組み、フェアトレードの認知普及を促進しています。団体のボランティアメンバーは船橋市民も多く、この公益活動助成事業を通して、船橋市にもフェアトレードの輪を広げたいと思っています。

問合わせ先 氏名: 成瀬・川島 e-mail: fteventchiba@gmail.com